

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 3 ACTA UROLOGICA JAPONICA March 1984

泌尿器科紀要

第30巻 第3号 1984年3月

経皮的腎嚢胞穿刺による95%エタノール注入療法	
第1編: 血中ならびに尿中エタノール動態.....	川村 寿一・ほか... 287
腎動静脈奇形に対する absolute ethanol 使用選択的血管栓塞術.....	佐々木光信・ほか... 295
尿路性器結核の臨床.....	布施 秀樹・ほか... 299
食物中の尿酸含有量の測定(英文).....	小川 由英・ほか... 305
和歌山赤十字病院泌尿器科における入院・	
手術統計(1979年4月~1983年3月).....	北川 道夫・ほか... 311
尿管静脈瘤に対する手術治療の経験.....	藤岡 知昭・ほか... 321
停留精巣の研究	
第1報: 停留精巣における間細胞の形態学的観察.....	後藤 百萬・ほか... 327
停留精巣の研究	
第2報: 停留精巣における精細管壁の形態学的観察.....	後藤 百萬・ほか... 349
転移性陰茎腫瘍の3例.....	寛 善行・ほか... 363
精索に発生した primary lipogranuloma の1例.....	牧 昭夫・ほか... 371
先天性偏側性多囊腎の1例	
—本邦126例の臨床統計について—.....	奥村 哲・ほか... 375
小児膀胱横紋筋肉腫の1例.....	神波 照夫・ほか... 387
異時性両側性の非特異性限局性尿管炎の1例.....	竹内 敏視・ほか... 397
神経因性膀胱に対する塩酸エペリゾンの使用経験.....	村山 和夫・ほか... 403
男子不妊症に対する八味地黄丸および人参湯の効果.....	奥山 明彦・ほか... 409
前立腺術後の尿路感染症に対する	
Pivmecillinam の予防と治療効果に対する検討.....	金武 洋・ほか... 415
前立腺手術後の化学療法	
—Pivmecillinam (PMPC) による長期治療の効果—.....	佐川 史郎・ほか... 423
排泄性腎盂造影における非イオン性低浸透	
圧水溶性造影剤イオパミロン370®の使用経験.....	宮川美栄子・吉田 修... 431

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込みば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田 または 山田・ほか:)と、2語(例:前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ii) 英文抄録:ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (iii) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (iv) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (v) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。(例:山田^{1,3,7)}, 田中^{1,3-10)}によると)

雑誌の場合—著者名(全員):題名、雑誌名
巻:最初頁~最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員):題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
 - (9) 編集部は原稿の訂正、書き直または返却を指定する権限を保持する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療器具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重	新谷 浩
吉田 修(主 幹)	